

裁判員を経験された方との意見交換会

開催日 令和5年2月22日(水)

場 所 福岡地方裁判所

参加者 裁判員経験者7名 裁判官1名 検察官1名 弁護士1名



貴重な御意見ありがとうございました。
ほんの一部ですがご紹介します。

参加されるまでの期待、不安、苦勞、参加した感想など

- 審理期間中の子どもの世話について、パートナーと調整する必要がありましたが、協力をしてくれて参加できた。
- 一般の人が入れない法廷に入ることができるという期待と、自分が他人の将来を決めるような裁判に関わってよいのかという不安がありました。

証拠や証人の取調べは分かりやすかったですか

- 検察官が提出した資料は、場所や起こったことがイメージできるくらいよく揃っていました。
- 専門家(医師)の説明はとても分かりやすく、考えるにあたってキーポイントになりました。
- 事件の関係者が多すぎて、人物関係図を見ても複雑で、誰と誰がどこで会ったなどを把握するのに苦勞しました。

検察官や弁護人の主張や意見は分かりやすかったですか

- 分かりやすくて、これなら自分でも裁判員をやっていけると思いました。



評議では意見を述べやすかったですか

- 順番に話す機会をもらったので、みんなまんべんなく意見を述べていました。
- 重たい事件でしたが、裁判長がすごく柔らかな感じで話しやすい雰囲気を作ってくれました。他の裁判官のアドバイスも的確で、疑問に対する答えも明確だったので、すごくやりやすかったです。
- 裁判官が一步引いて、みんなの意見を引き出してくれました。
- マスクが無くなれば、表情が分かり、もっと親しくなって意見を言いやすくなるかもしれません。
- 早い時期にみんなで食事会をするなどの機会があると、最初からもっと話しやすい雰囲気になったのかなと思います。

みなさんの意見は判決に反映されたと思いますか

- 自分の意見と違っていても、最終的に判決に納得できればいいんだと思いました。
- 量刑の意見については過去の判決を基準にして考えたので、そういう意味では自分の意見そのものが反映されたことにはならなかったのかなと思います。

裁判員裁判に参加した後、考え方や生活に変化がありましたか 家族や職場の方へは、ご自分の経験をどう伝えましたか

- 普段は出会うことがない裁判官や見ず知らずの人と一緒に考えることができ、本当によかったです。家庭での話題作りにもなりました。
- 子どもが絡んだ事件だったので感情移入して眠れないこともありましたが、自分の子どもに優しくなれました。裁判関係の教材を買って子どもと楽しんでます。
- 控訴審や上告審があるので、裁判員個人の重圧はそれほど感じなくてもよいのではと思います。

取材していただいた司法記者クラブの方からは、18歳、19歳の方が裁判員になることについてどう思いますか、という質問がありました

- とてもよいことだと思いますが、早くから授業などで学んでおく必要があると思います。
- 人の意見を聴くことができ、自分の意見を言うことができれば、社会経験がなくても大丈夫だと思います。